

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	経営分析 (Financial Statements Analysis)		
ナンバリングコード	E30614	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 会計ファイナンス
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E013451	クラス名	-
担当教員名	長崎 浩介		
履修上の注意、履修条件	1. 毎回必ず出席してください。授業開始時の出欠確認と終了時のレポート提出により出席を認定します。 2. 毎回予習・復習をしてください。 3. 毎回電卓を持参してください。		
教科書	配布資料(プリント)により授業を進めます。		
参考文献及び指定図書	「その他」欄を参照		
関連科目	簿記入門、簿記原理、財務諸表論、会社簿記、原価計算論A・B、管理会計論A・B、監査論A・B		

○基本情報			
授業の目的	この授業では、企業の経営分析手法のうち財務諸表分析を取り扱います。財務諸表は、企業の財務の状況に関する、企業と企業を取り巻く人たちとのコミュニケーション・ツールです。しかし、財務諸表は一見数字の羅列にしか見えません。財務諸表利用者は、その数字からどのような方法で、どのような意味を読み取ったらよいのでしょうか。財務諸表の数字から、財務諸表利用者の知りたい意味を読み取る手法が財務諸表分析です。 この授業では、財務諸表分析の各種手法の習得を通じて、財務諸表を「読める」ようになることを目標とします。		
授業の概要	授業では、実際に公表されている企業の財務諸表も参照しながら、財務諸表分析で一般に使用される各種指標等を、その意義を含めて体系的かつ実践的に学習します。 また、原則として毎回練習問題を出題するとともに、期末試験対策を兼ねた総合問題演習を行うことにより、授業内容の理解促進と定着を図ります。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	地方自治体において監査、団体検査、中小企業支援等の行政事務に従事(長崎)		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	経営分析の意義・目的について説明できる。			15点
【知識・理解】	経営分析に用いる代表的な分析指標に関する基礎知識が身についている。	50点		
【技能・表現・コミュニケーション】	経営分析に関する代表的な分析指標を使いこなすことができる。		10点	
【思考・判断・創造】	企業の財務諸表等を比較・分析することができる。	20点	5点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
毎回授業の課題提出30点及び期末試験70点(合計100点)を満点として成績を評価します。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。	

○その他	
授業内容に関する質問を随時受け付けます。質問の方法は、第1回授業でお知らせします。	
【参考図書】 桑原和之『だれでもわかる決算書分析』ネットスクール、2018年 稲盛和夫『稲盛和夫の実学 経営と会計』日本経済新聞出版社(日経ビジネス人文庫)、2000年 協和醗酵工業(株)『人事屋が書いた経理の本』ソーテック社、1978年	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	経営分析 (Financial Statements Analysis)	授業コード	E013451
	担当教員	長崎 浩介		
学修内容				
1. 財務諸表を見てみよう				
財務諸表は、企業と企業を取り巻く人たちのコミュニケーションのツールですが、実際にどのようなコミュニケーションが行われているのでしょうか。この回では、有価証券報告書などで実際に公表されている企業の財務諸表を読み、コミュニケーションの「現場」で何が行われているかを理解します。				
予習	インターネットで公開されている上場企業などの財務諸表を検索、閲覧する。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。自分が関心を持つ上場企業の有価証券報告書を通読する。		約2時間	
2. 財務諸表の体系、様式、計算構造				
企業の決算の結果を表す財務諸表にはどのようなものがある、何が書かれていて、そこから何が分かるのでしょうか。この回では、財務諸表の種類とフォーマット、記載内容と計算構造(財務諸表間の数字のつながり)について学習します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。練習問題を解き直す。		約2時間	
3. 安全性分析				
企業の安定性(裏返して言えば倒産可能性)を評価する安全性分析の指標について学習します。具体的には、流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率、自己資本比率などを取り扱います。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。練習問題を解き直す。		約2時間	
4. 収益性分析				
企業の「稼ぐ力」を評価する収益性分析の指標について学習します。具体的には、売上高利益率、資本利益率などを学習します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。練習問題を解き直す。		約2時間	
5. 総合問題演習①				
第2回から第4回までの内容について、問題演習と解説講義を行います。				
予習	出題範囲を復習する。		約2時間	
復習	演習問題を解き直す。間違えた箇所は該当回のプリントと練習問題を見直す。		約2時間	
6. デュポン・システム				
売上高利益率、資本利益率と資本回転率を統合した財務分析モデルであるデュポン・システムについて、その分析手法と活用方法について学習します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。練習問題を解き直す。		約2時間	
7. 活動性分析				
企業活動の活発さを評価する活動性分析の指標について学習します。具体的には、総資本回転率など各種回転率・回転期間を学習します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。練習問題を解き直す。		約2時間	
8. 総合問題演習②				
第6回及び第7回の内容について、問題演習と解説講義を行います。				
予習	出題範囲を復習する。		約2時間	
復習	演習問題を解き直す。間違えた箇所は該当回のプリントと練習問題を見直す。		約2時間	

○授業計画	科目名	経営分析 (Financial Statements Analysis)	授業コード	E013451
	担当教員	長崎 浩介		
学修内容				
9. キャッシュ・フロー分析①				
損益計算書は発生主義で表示されるので、損益計算書で利益が生じていても、必ずしもキャッシュ(現金や預金=支払資金)の裏付けはありません。しかし、支払資金の不足は倒産に直結するため、企業にとってキャッシュの確保は死活的に重要な問題であり、投資者にとっても重大な関心事です。そこで、企業のキャッシュ・フローの状況を表すキャッシュ・フロー計算書が財務諸表に追加されました。この回では、キャッシュ・フロー計算書のフォーマットと、それが必要とされた背景について学習します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。練習問題を解き直す。		約2時間	
10. キャッシュ・フロー分析②				
キャッシュ・フロー計算書のフォーマットと計算構造を確認するとともに、キャッシュ・フロー計算書を活用してどのような財務分析ができるのかを学習します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。練習問題を解き直す。		約2時間	
11. 損益分岐点分析				
企業は、売り上げが全くなくても、存在するだけで費用がかかります。このような費用を固定費といい、モノを売った儲けで固定費を支払い、さらに余りが出たときに企業は初めて利益を得ることができます。モノを売った儲けで固定費を全部回収できる、つまり損益がゼロとなる売上高あるいは売上数量を損益分岐点といい、ビジネスの最初の目標は売上が損益分岐点をクリアすることにあります。この回では、損益分岐点分析の基本的な意義を確認した上で、損益分岐点公式とその活用方法について学習します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	配布資料(プリント)を見直す。練習問題を解き直す。		約2時間	
12. 総合問題演習③				
第9回から第11回までの内容について、問題演習と解説講義を行います。				
予習	出題範囲を復習する。		約2時間	
復習	演習問題を解き直す。間違えた箇所は該当回のプリントと練習問題を見直す。		約2時間	
13. 事例研究①				
これまで学習した財務分析手法を適用しながら、上場企業が公表している財務諸表を実際に分析します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	授業で行った財務分析の手順を各自再度確認する。		約2時間	
14. 事例研究②				
これまで学習した財務分析手法を適用しながら、上場企業が公表している財務諸表を実際に分析します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。		約2時間	
復習	授業で行った財務分析の手順を各自再度確認する。		約2時間	
15. 期末模擬試験				
第1回から第14回までの内容について、実際の期末試験の出題形式で問題演習と解説講義を行います。				
予習	授業全体の総復習をする。		約2時間	
復習	模擬試験問題を解き直す。間違えた箇所は該当回のプリントと練習問題を見直す。		約2時間	
16. 期末試験				
試験範囲と実施方法については、授業内でお知らせします。				
予習				
復習				